

Luxman

USB D/A CONVERTER

DA-06

Owner's Manual

このたびは、ラックスマンの USB D/A コンバーターDA-06 をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。

NHK がラジオの本放送を開始した 1925 年、錦水堂ラジオ部として創業されたラックスマンは、80 余年にわたって数多くの製品をオーディオファンや音楽ファンに届けてまいりました。その間、いつの時代にあってもオーディオと音楽を愛する人たちの熱い心は変わりませんでした。

音楽に込められたアーティストの情念を余さず忠実に再現する、そのときの感動の深さと機器への愛着の深さこそがオーディオにとっての最高の価値であると私たちは考えます。

縁あってラックスマン製品をお選びいただきましたことは、オーディオと音楽に対して私たちと同じ情熱と価値観を共有できることであると、心から嬉しく思っております。

本機を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこのオーナーズマニュアルをよくお読みください。それによって本機の性能が十分に発揮され、最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただくことができます。お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

末永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

目次

使用上の注意	1
本機の特徴	2
各部の名称と用途	4
接続方法	10
操作方法	13
ブロックダイアグラム	14
規格	15
修理に出される前に	16
アフターサービスと品質保証について	17

設置する場所

- ・ 組み合わせて使用する機器のそばの安定した場所を選んでください。
- ・ テレビやカラーモニターの近くに本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- ・ 直射日光のあたる所
- ・ 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ・ 極端に暑い所や寒い所
- ・ 振動のある所
- ・ ホコリの多い所
- ・ 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上に載せないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ離して入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

光デジタルケーブル取り扱い上のご注意

- ・ 急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が 15cm 以上になるようにしてください。
- ・ 接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
- ・ 長さは 3m 以下のものを使用してください。
- ・ プラグにほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

製品のお手入れについて

- ・ 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5~6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭きとった後乾いた布で拭いてください。
- ・ アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- ・ 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- ・ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

併用機器との接続時の注意

本機に CD プレーヤー、DVD プレーヤーなど、PC/Mac 以外の入出力機器を接続するときには、本機をはじめ、すべての併用機器の電源スイッチを必ず切ってください。スピーカーを破損するほどのノイズが発生したり、場合によっては故障の原因になることがあります。本機の各入力端子に差し込むピンプラグは、しっかりと差し込んでください。アース側が浮いているとハムなどのノイズが発生し、S/N 比悪化の原因になります。

修理・調整について

修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービスセンターへご依頼ください。

本機の特徴

新スタンダード・サイズ

ラックスマンのスタンダード・サイズ横幅 440mm を採用した、パネル高さ 80mm の新サイズ高剛性シャーシを開発。

USB 入力 384kHz/32bit 対応

USB 入力端子 (B タイプ) を装備し、PC/Mac などからの USB デジタル・オーディオ信号の入力が可能。

最大 384kHz のサンプリング周波数、32bit の量子化ビット数に対応。

USB 入力 DSD 対応

PC/Mac などから DSD フォーマット・データの入力が可能。

2.822MHz/5.644MHz のサンプリング周波数に対応。

D-06 グレードの回路搭載

DAC 周辺回路およびアナログ出力アンプには SACD プレーヤーD-06 と同等の高音質回路を搭載。

DD コンバーター機能

USB を含む 192kHz/24bit 以下の入力を S/PDIF 方式でデジタル出力可能。

アナログ回路

左右それぞれに独立したモノラル動作の D/A コンバーターの差動出力をフルバランス構成の高音質アンプ回路でドライブ。

バランス出力搭載

本格的なバランス構成回路による XLR バランス出力端子を搭載。

アナログ出力位相切替

バランス出力、アンバランス出力共に位相切替可能。

32 ビットデジタルフィルター

専用の 32 ビット演算処理のデジタルフィルターにより、44.1kHz/88.2kHz/176.4kHz サンプリングの入力は、352.8kHz に、48kHz/96kHz/192kHz サンプリングの入力は、384kHz にアップサンプリング。

PCM データに対しては 3 種類のデジタル・フィルター、DSD データに対しては 2 種類のアナログ FIR フィルターを切替可能。

バーブラウン製 PCM1792A 搭載

DAC チップにはラックスマン SACD プレーヤーD シリーズに採用されているバーブラウン製 PCM1792A を左右独立のモノラル構成で採用。

低位相雑音水晶発振器

発振周波数近傍のノイズが小さい発振器を採用。ジッターの少ないクロックを供給。

アシンクロナス通信対応

USB 入力はアシンクロナス通信と PLL により、USB 専用 DSP で低ジッター化。

7セグメント LED 表示

視認性に優れた3桁の7セグメントLEDを2段に配置。デジタル入力のサンプリング周波数とビット数をモニター表示。(ビット数表示はS/PDIF入力時のみ)

ディマー機能

本体表示窓の明るさを4段階に切替可能。

アナログ出力端子

大型プラグの接続に対応した18mmピッチ金メッキ仕上げのRCA端子と、ノイトリック社製XLR端子を装備。

デジタル入力端子

コアキシャル2系統、オプティカル2系統、バランス1系統を装備。

32kHzから192kHzまでのS/PDIFフォーマット信号に対応。

他のオーディオ機器のデジタル音声出力信号を本機の高音質な回路を使用して再生可能。

デジタル入力(S/PDIF)は、バーブラウン製PCM9211のPLLにより低ジッター化。

ラストメモリー機能

デジタルフィルターやアナログ出力極性等の設定値をフラッシュメモリーに記憶。

デジタル出力オフ

デジタル音声出力をオフにすることによりアナログ出力の質を向上。

AC インレット

外付け電源ケーブルの装着を可能にする、ハイグレードな金メッキ(非磁性処理)ACインレット。

高剛性レグ

アルミニウム削り出しの高剛性レグを採用。

ハイナージャ電源

OI型コアタイプの電源トランスとカスタム仕様の10,000 μ F \times 2本のコンデンサーブロックを組み合わせ、ハイナージャ(高慣性)電源回路。

オリジナル技術の採用

ラックスマン伝統のラウンドパターン配線基板やOFCの内部配線、オリジナルカスタムパーツ等をふんだんに採用。

電源ケーブル

ノンツイスト構造を採用し、聴感上の周波数のうねりを排除したラックスマン標準電源ケーブルJPA-10000を付属。

*1 Mac、Mac OSは、米国Apple Inc.の登録商標または商標です。

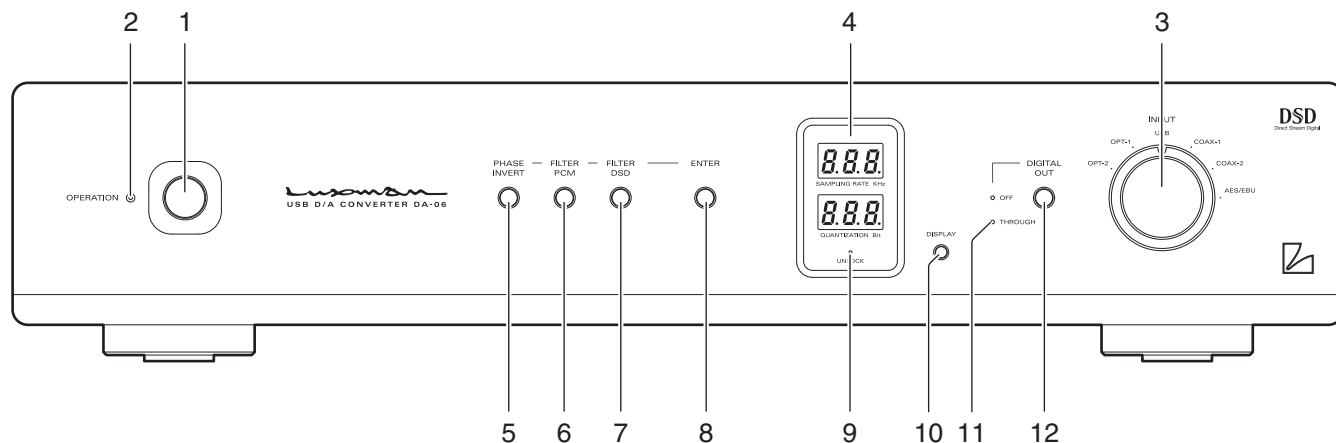
*2 Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

*3 DSDは商標です。

*4 記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

各部の名称と用途

本体正面



1. オペレーション・スイッチ (OPERATION)

電源をオン/オフするスイッチです。

配線、接続時には必ずこのスイッチをオフにしてください。

2. オペレーション・インジケータ (OPERATION)

オペレーション・スイッチをオンにするとタイム・ミュート中は点滅し、その後動作状態になると点灯します。

3. インプット・セレクター (INPUT)

本機の各入力端子に接続した入力機器を選択するためのスイッチです。

左から OPT-2 / OPT-1 / USB / COAX-1 / COAX-2 / AES/EBU の6つの位置があり、それぞれリアパネルの入力端子と対応しています。再生したい入力名の位置にツマミの指標を合わせて入力を選択します。

4. サンプリング周波数表示 LED

(SAMPLING RATE)、

ビット数表示 LED (QUANTIZATION Bit)

インプット・セレクターで選択された入力端子 (OPT / USB / COAX / AES / EBU) に接続したデジタル信号のサンプリング周波数とビット数を表示します。インプット・セレクターで OPT / USB / COAX / AES / EBU のいずれかを選択し、それぞれのデジタル機器からのデジタル信号と本機の同期が取れたとき、そのデジタル信号のサンプリング周波数とビット数が表示されます。

デジタル信号が入力されていないか、されていても同期していないときは、デジタル信号アンロック・インジケータが点灯し、サンプリング周波数は表示されません。

USB を選択している場合は、サンプリング周波数のみを表示します。ビット数は表示されません。

PC/Mac の再生を停止した場合は、サンプリング周波数は消えますが、アンロック・インジケータは消灯のままになります。これは、PC/Mac との通信が保たれていることを表わしています。

サンプリング周波数は以下の表示が可能です。

USB 端子入力時	: 32kHz、44.1kHz、48kHz、 88.2kHz、96kHz、176.4kHz、 192kHz、352.8kHz、384kHz
OPT/COAX/ AES/EBU 端子入力時	: 32kHz、44.1kHz、48kHz、 88.2kHz、96kHz、176.4kHz、 192kHz

表示 LED では、上位 3 桁を表示します。

OPT/COAX/AES/EBU 端子入力時は、曲の冒頭を再生したときに、ビット数が表示されます。曲の途中から再生した場合は、ビット数は---と表示されます。

5. アナログ出力位相切替スイッチ (PHASE INVERT)

リアパネルにあるアナログ出力の位相を反転します。

バランス出力とライン出力は共に反転します。

このスイッチを押すと表示 LED に現在の設定値 (3-P、2-P) が表示されます。

設定値を表示中にもう一度スイッチを押すと次の設定値が表示されます。

設定値を表示中にエンター・スイッチ (ENTER) を押すと設定値が確定されます。

エンター・スイッチを押さないと、位相切替は変更されません。

この設定は、電源を切ってもフラッシュメモリーに記憶されます。

[ノーマルポジション]

P H バランス出力の 3 番ピンがプラスである
3 - P ことを表わします。

[インバートポジション]

P H バランス出力の 2 番ピンがプラスである
2 - P ことを表わします。

6. デジタル・フィルター切替スイッチ (FILTER PCM)

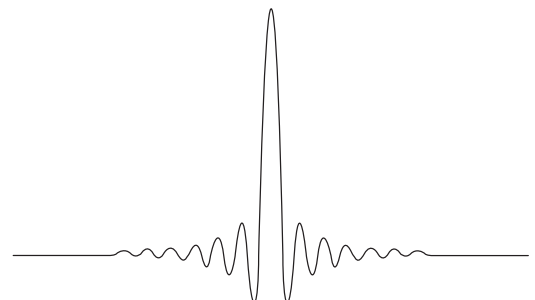
PCM データを再生しているときの、32 ビット・デジタルフィルターの補完関数を切り替えるスイッチです。音質が変化しますので、お好みの音質となるフィルターを選択してください。

フィルターは P-1、P-2、P-3 の 3 種類があります。

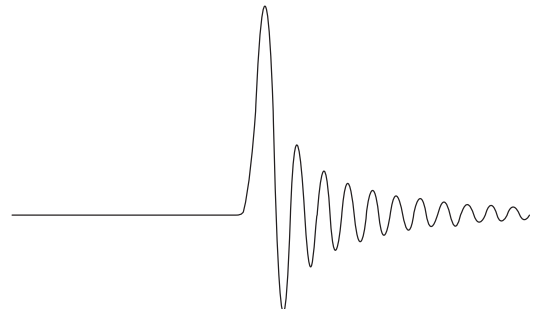
このスイッチを押すと、表示 LED に現在の設定値 (P-1、P-2、P-3) が表示されます。設定値を表示中にもう一度スイッチを押すと次の設定値が表示されます。設定値を表示中にエンター・スイッチ (ENTER) を押すと、設定値が確定されます。エンター・スイッチ (ENTER) を押さないとデジタルフィルターは変更されません。補完関数のインパルス応答は、以下のような波形となります。

この設定は、電源を切ってもフラッシュメモリーに記憶されます。

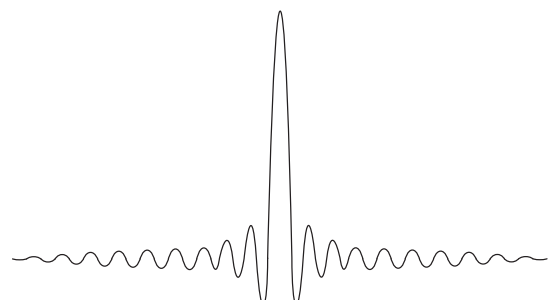
P-1 (ノーマル FIR フィルター)



P-2 (ロー・レイテンシー IIR フィルター)

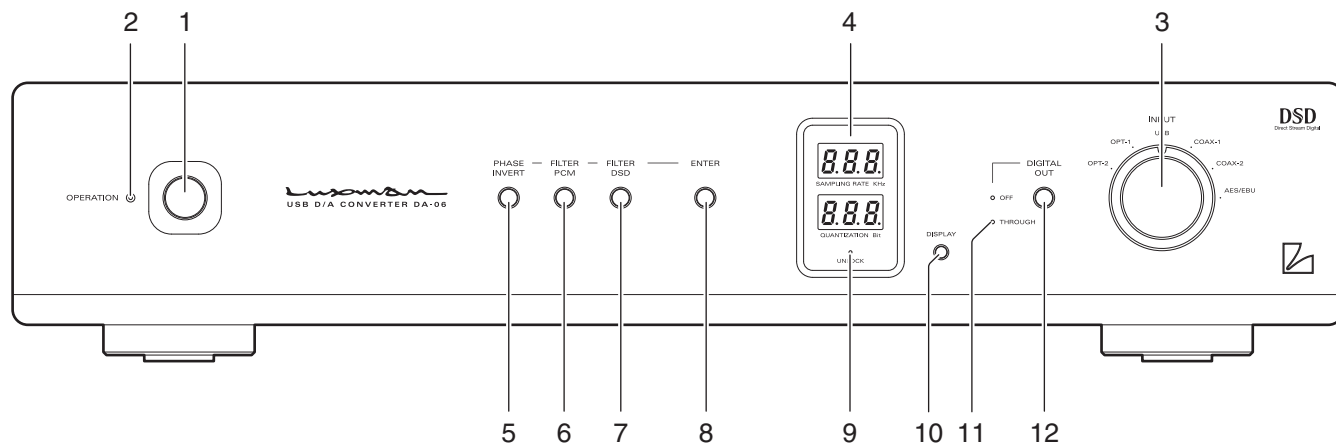


P-3 (ハイ・アッテネーション FIR フィルター)



各部の名称と用途

本体正面



7. アナログ FIR フィルター切替スイッチ (FILTER DSD)

DSD ファイルを再生しているときのアナログ FIR フィルターを切り替えるスイッチです。

音質が変化しますので、お好みの音質となるフィルターを選択してください。フィルターは d-1、d-2 の 2 種類があります。

このスイッチを押すと表示 LED に現在の設定値 (d-1、d-2) が表示されます。

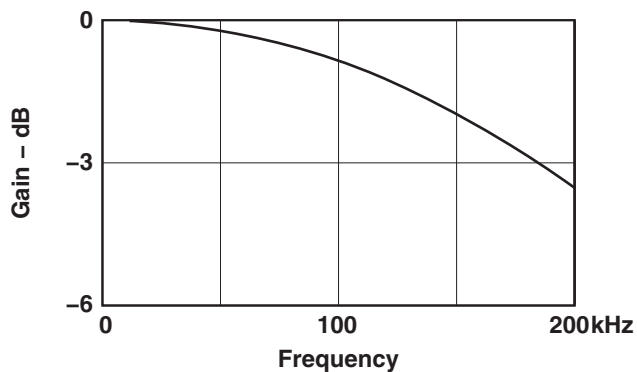
設定値を表示中にもう一度スイッチを押すと次の設定値が表示されます。

設定値を表示中にエンター・スイッチ (ENTER) を押すと設定値が確定されます。

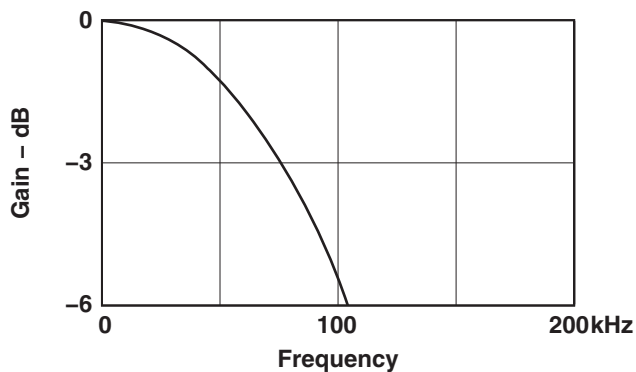
エンター・スイッチ (ENTER) を押さないと、フィルターは変更されません。

アナログ FIR フィルターの特性は、以下のようになります。

d-1 (ノーマル・アナログ FIR フィルター)



d-2 (ハイ・アッテネーション・アナログ FIR フィルター)



8. エンター・スイッチ (ENTER)

アナログ出力位相切替 (PHASE INVERT)、デジタル・フィルター切替 (FILTER PCM)、アナログ FIR フィルター切替 (FILTER DSD) ディスプレイ切替 (DISPLAY) の設定値を確定させるスイッチです。

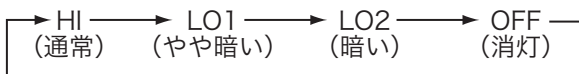
9. デジタル信号アンロック・インジケーター (UNLOCK)

インプット・セレクターで選択された入力端子に接続されたデジタル機器と本機の同期が取れていないとき、このインジケーターが点灯します。

10. ディスプレイ・スイッチ (DISPLAY)

サンプリング周波数表示 LED とビット数表示 LED の明るさ調節を行うスイッチです。

このスイッチを押すと、現在の明るさを表示します。明るさを表示している間にもう一度スイッチを押すと明るさが下図のように変化します。



消灯を選択すると、OFF の文字が数秒表示され、その後に表示が消えます。

この設定は、電源を切ってもフラッシュメモリーに記憶されます。

11. デジタル出力表示 LED (OFF/THROUGH)

デジタル音声出力の状態を表示します。

出力がオフのときに OFF が点灯し、出力がオンのときに THROUGH が点灯します。

THROUGH が点灯しているときは、インプット・セレクターで選択された入力信号が、デジタル出力端子に出力されます。アップサンプリングはされません。

DSD ファイルを再生している場合は、デジタル音声は出力できません。

12. デジタル出力切替スイッチ (DIGITAL OUT)

デジタル音声出力をオフ、またはスルーするときに押します。

押すたびにオフとスルーが切り替わります。

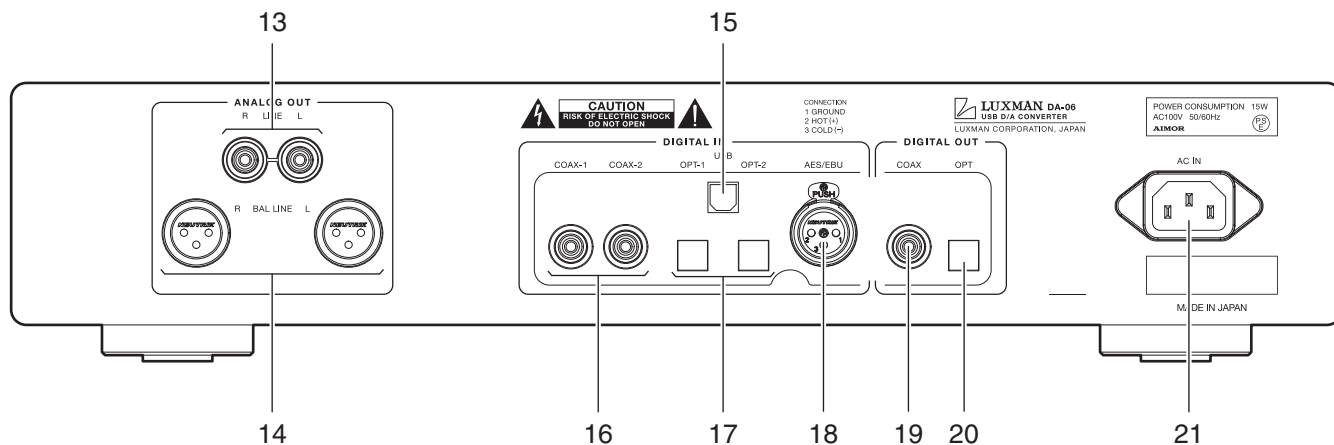
この設定は、電源を切ってもフラッシュメモリーに記憶されます。

DSD ファイルを再生している場合は、デジタル音声は出力できません。

32kHz、352.8kHz と 384kHz のサンプリング周波数の PCM データを再生している場合は、デジタル音声は出力できません。

各部の名称と用途

本体後面



13. アナログ・アンバランス出力端子 (LINE)

本機のアンバランス再生信号を出力する RCA タイプの出力端子です。

プリ・アンプなどの機器のアンバランス入力にピンケーブルを使用して接続してください。

フロントパネルのアナログ出力位相切替スイッチ (PHASE INVERT) によって位相を切替えることができます。

[ノーマル・ポジション]

[PH 3-P] と設定した場合

[インバート・ポジション]

[PH 2-P] と設定した場合

14. アナログ・バランス出力端子 (BAL LINE)

本機のバランス再生信号を出力する XLR タイプの出力端子です。

プリ・アンプなどの機器のバランス入力にバランスケーブルを使用して接続してください。

本機の出力端子の位相は以下のようになっています。

[ノーマル・ポジション]

1. GROUND
2. COLD (-) [PH 3-P] と設定した場合
3. HOT (+)

[インバート・ポジション]

1. GROUND
2. HOT (+) [PH 2-P] と設定した場合
3. COLD (-)

15. デジタル入力端子 (USB)

PC/Mac などのデジタル信号を USB ケーブルを使用して本機に入力する USB 規格 (B タイプ) の入力端子です。以下のデータに対応しています。

・PCM 信号

サンプリング周波数：32kHz、44.1kHz、48kHz、
88.2kHz、96kHz、176.4kHz、
192kHz、352.8kHz、384kHz

量子化ビット数：16bit、24bit、32bit

・DSD 信号

サンプリング周波数：2.8224MHz、5.6448MHz

量子化ビット数：1bit

PC の OS が Windows の場合では、専用のドライバー・ソフトウェアのインストールが必要になります。

別冊のソフトウェア・インストール・マニュアルをお読みください。

16. デジタル入力端子 (COAX)

デジタル出力端子を備えた CD プレーヤーなどのデジタル信号を同軸デジタルケーブルを使用して本機に入力する RCA タイプの入力端子です。

以下のデータに対応しています。

サンプリング周波数：32kHz、44.1kHz、48kHz、
88.2kHz、96kHz、176.4kHz、
192kHz

量子化ビット数：16bit、20bit、24bit

17. デジタル入力端子 (OPT)

デジタル出力端子を備えた CD プレーヤーなどのデジタル信号を光デジタルケーブルを使用して本機に入力する TOS-LINK タイプの入力端子です。

以下のデータに対応しています。

サンプリング周波数：32kHz、44.1kHz、48kHz、
88.2kHz、96kHz、176.4kHz、
192kHz

量子化ビット数 : 16bit、20bit、24bit

18. デジタル入力端子 (AES/EBU)

デジタル出力端子を備えた CD プレーヤーなどのデジタル信号をバランス・デジタルケーブルを使用して本機に入力する XLR タイプの入力端子です。

サンプリング周波数：32kHz、44.1kHz、48kHz、
88.2kHz、96kHz、176.4kHz、
192kHz

量子化ビット数 : 16bit、20bit、24bit

19. デジタル出力端子 (COAX)

デジタル入力端子 (OPT/USB/COAX/AES/EBU) に入力されたデジタル信号を出力する RCA タイプの出力端子です。

インプット・セレクターで選択されたデジタル入力信号が出力されます。出力されるデジタル信号のサンプリング周波数と量子化ビット数は、入力された信号のままとなります。

DSD ファイルを再生している場合は出力されません。32kHz、352.8kHz と 384kHz のサンプリング周波数の PCM データを再生している場合は、デジタル音声は出力できません。

20. デジタル出力端子 (OPT)

デジタル入力端子 (OPT/USB/COAX/AES/EBU) に入力されたデジタル信号を出力する TOS-LINK タイプの出力端子です。

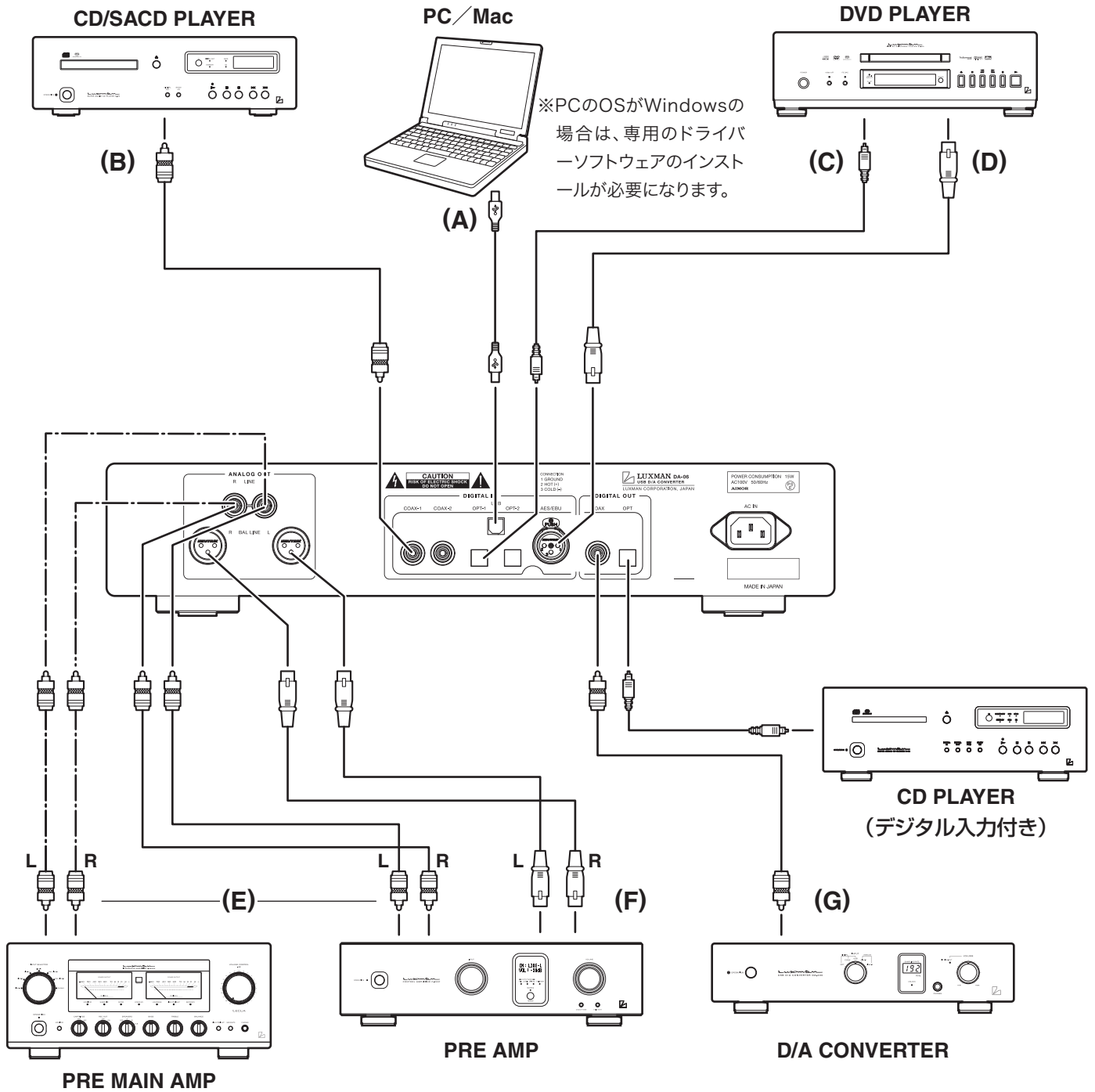
インプット・セレクターで選択されたデジタル入力信号が出力されます。

DSD ファイルを再生している場合は出力されません。32kHz、352.8kHz と 384kHz のサンプリング周波数の PCM データを再生している場合は、デジタル音声は出力できません。

21. AC インレット (AC IN)

付属の電源ケーブルを接続します。電源は AC100V 家庭用コンセントを使用してください。

接続方法



接続する前に

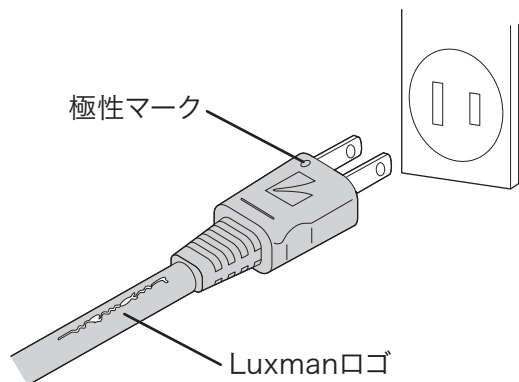
他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック部（穴が3つある方）を本機の AC インレットに接続してください。

接続するときは、おもわぬノイズの発生による事故を防止するため、本機の電源と併用機器の電源をすべてオフにしてください。

電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、AC プラグをリスニングルームなどにある AC100V のコンセントに差し込んでください。ケーブル本体に印字された Luxman ロゴが見えるように AC プラグを差し込むと、電源極性が正しく設定されます。

一般的に AC コンセントは、向かって左側の若干長い穴が接地用端子（W 表記）になっています。



接続方法

入力機器の接続

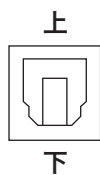
1. PC/Mac からのデジタル接続 (接続図 (A) を参照)

PC/Mac の USB 端子 (A タイプ) から、本機の USB 端子 (B タイプ) へ USB ケーブルで接続してください。PC の OS が Windows の場合は、本機は自動認識されません。専用のドライバー・ソフトウェアをインストールする必要があります。別冊のソフトウェア・インストール・マニュアルをお読みください。Mac では、本機は自動的に認識されます。

2. CD プレーヤーなどからのデジタル接続 (接続図 (B)、(C)、(D) を参照)

CD プレーヤー、スーパーオーディオ CD プレーヤー、DVD プレーヤーなどのデジタル出力端子 (同軸デジタル出力端子、光デジタル出力端子、バランス・デジタル出力端子) から、本機のデジタル入力端子 (COAX / OPT / AES / EBU) へ同軸デジタルケーブル、光デジタルケーブル、バランス・デジタル・ケーブルで接続してください。

本機の光端子はシャッター式です。光端子に接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと端子が変形してケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。



本機の光端子の向きは左図のようになっています。

出力機器の接続

1. プリメインアンプなどへのアンバランス接続 (接続図 (E) を参照)

本機のアナログ・アンバランス出力端子 (LINE) から、プリメインアンプなどのアンバランス入力端子へ L、R2 本の RCA ピンケーブルで接続してください。

2. プリアンプなどへのバランス接続 (接続図 (F) を参照)

本機のアナログ・バランス出力端子 (BAL LINE) から、プリメインアンプ等のバランス入力端子へ L、R2 本の XLR バランスケーブルで接続してください。

3. 他の D/A コンバーターなどへのデジタル出力 (接続図 (G) を参照)

本機のデジタル出力端子 (COAX/OPT) から、D/A コンバーターやデジタル入力端子を備えた CD プレーヤーなどへ、同軸デジタルケーブルや光デジタルケーブルで接続してください。

本機は D/A コンバーターです。音楽の再生操作は、すべて入力端子に接続した PC/Mac、CD プレーヤーなどの入力機器で行います。

操作する前に

1. 接続が確実に行われているか確認してください。
(L、R の接続に誤りがあると正常な再生ができません。)
2. オペレーション・スイッチを押して電源をオンにします。

デジタル入力に接続した機器の音楽再生 (アナログ出力)

1. 再生する入力機器をインプット・セレクターで選択します。(OPT/USB/COAX/AES/EBU)
2. 入力機器を再生状態にすると、デジタル信号アンロック・インジケータ (UNLOCK) が消灯し、再生信号のサンプリング周波数が表示されます。

本機に入力されたデジタル信号が正常で無い場合、デジタル信号アンロック・インジケータ (UNLOCK) が点灯し、信号は出力されません。

3. アナログ・アンバランス出力端子 (LINE) にプリメインアンプなどを接続している場合、またはアナログ・バランス出力端子 (BAL LINE) にプリアンプなどを接続している場合、出力機器のボリューム・コントロールで音量を調節してください。

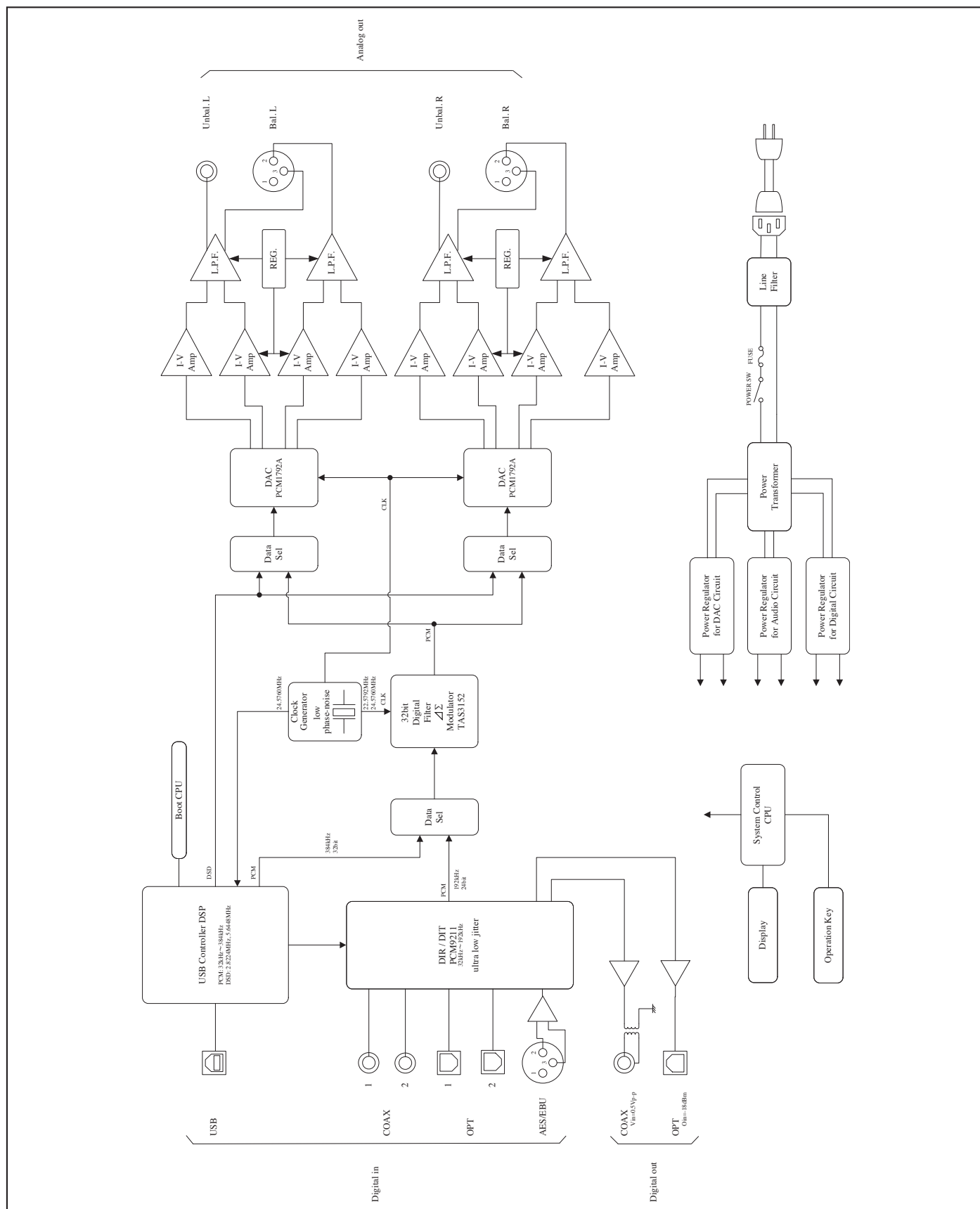
デジタル出力の使い方

本機に入力されたデジタル機器の再生信号を、デジタル出力端子から、他の D/A コンバーターやデジタル入力端子を持った CD プレーヤーなどに再度出力することが可能です。

(USB 入力端子を搭載していない CD プレーヤーは、本機を接続することで、本機の USB 入力端子からのデジタル信号を OPT/COAX 入力端子で受けることができます。)

1. 再生する入力機器をインプット・セレクターで選択します。(OPT/USB/COAX/AES/EBU)
2. 接続しているシステムのボリューム・コントロールで音量を調節してください。

ブロックダイアグラム



形式	2チャンネル・USB D/A コンバーター	
許容動作温度	+5℃～+35℃	
音声出力特性	出力電圧 / 出力インピーダンス:	UNBALANCE 端子 (RCA 端子) 2.5 Vrms/300Ω BALANCE 端子 (XLR 端子) 2.5 Vrms/600Ω
	周波数特性:	4 Hz ~ 20 kHz (+0, -0.4 dB) 2 Hz ~ 55 kHz (+0, -3.0 dB)
	全高調波歪率:	0.0005 % / アンバランス 0.0005 % / バランス
	S/N 比:	124 dB
	ダイナミックレンジ:	120 dB
	チャンネル・セパレーション:	120 dB
	デジタル入力	同軸デジタル入力:
AES/EBU デジタル入力:		0.2 ~ 10 Vp-p
光デジタル入力:		-14.5 ~ -21 dBm
USB 入力:(対応 OS)		Windows XP (SP2) 以降、Mac OS X10.7 以降
サンプリング周波数:		OPT / COAX / : 32 kHz・44.1 kHz・48 kHz・88.2 kHz AES/EBU 入力 96 kHz・176.4 kHz・192 kHz (16 bit, 20 bit, 24 bit) USB 入力 : 32 kHz・44.1 kHz・48 kHz・88.2 kHz 96 kHz・176.4 kHz・192 kHz・352.8 kHz 384 kHz (16 bit, 24 bit, 32 bit) 2.8224 MHz・5.6448 MHz (1 bit)
デジタル出力	同軸デジタル出力:	RCA 端子 0.5 Vp-p/75Ω
	光デジタル出力:	光デジタル端子 -15 ~ -21 dBm
付属機能	フロントパネル	<ul style="list-style-type: none"> • オペレーション・スイッチ • サンプリング周波数表示 LED • ビット数表示 LED • インプット・セレクター • 位相切替スイッチ • フィルター切替スイッチ (PCM、DSD) • エンター・スイッチ • ディスプレイ・スイッチ • アンロック・インジケーター • デジタル出力表示 LED • デジタル出力切替スイッチ
	リアパネル	<ul style="list-style-type: none"> • AC インレット • デジタル入力端子 (USB, COAX, OPT, AES/EBU) • デジタル出力端子 (COAX, OPT) • アナログ出力端子 (BALANCE, UNBALANCE)
付属品	<ul style="list-style-type: none"> • 電源ケーブル JPA-10000 • インストール・ソフトウェア CD • 安全上のご注意 • 取扱説明書 • 保証登録書 	
電源電圧	AC100 V, 50/60 Hz	
消費電力	15 W (電気用品安全法の規定による)	
重量	11.0 kg (本体)	
外形寸法	440 (W) × 92 (H) × 400 (D) mm (奥行きは全面ノブ 14mm, 背面端子 6mm を含む)	

※ 規格および外観は予告なく変更することがあります。

修理に出される前に

ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記の表、および併用機器の取扱説明書をご覧のうえ、ひと通り確認してください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくは弊社サービス・センターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくても点検代、出張費などをいただくことがあります。

また、本機に接続した PC/Mac などのパーソナルコンピューター、もしくはパーソナルコンピューター上で動作するソフトウェアの操作や設定に関してはサポートの対象外とさせていただきます。

症 状	原 因 / 対 策	参照ページ
オペレーション・スイッチを押しても電源が入らない。	・電源ケーブルを AC インレットおよび家庭用コンセントに正しく接続する。	11
音が出ない、音が小さい。	・入力機器やアンプ、スピーカーなどを正しく接続する。	10～12
	・インプット・セレクターを再生するソースの位置にセットする。	13
	・ライン出力（アンバランス）やバランス出力で聞いている場合、接続したアンプなどのボリュームで音量を調節する。	13
音が出ない、音が小さい（デジタル入力の場合）。	・デジタル接続ケーブルを正しく接続する。	10～12
	・USB 入力を選んでいる場合、PC/Mac などのサウンド設定で音声の出力先に本機（DA-06）を選ぶ。	PC/Mac など、または使用しているソフトウェアのマニュアル等をご参照ください。
	・上記で本機（DA-06）が選べない場合は、もう一度 USB ケーブルを接続しなおす。	
	・USB 入力を選んでいる場合、PC/Mac などのサウンド設定で音量を調節する。	
	・USB 入力を選んでいる場合、PC/Mac などで使用している再生プレーヤー・ソフトウェアで音量を調節する。	
	・再生しているデジタル信号が、本機が対応しているサンプリング周波数と量子化ビット数であるか確認する。	8～9
・デジタル信号アンロック・インジケーターが点灯していないか確認する。（デジタル信号と本機の同期が取れていないときは再生されません）	7	
ハム音（ブーン、またはジーというノイズ）が出る。	・RCA ラインケーブルを確実に差し込む。	10
	・他機器の電源トランスから誘導ノイズを受けている可能性がある場合、機械どうしを離して設置する。	
	・ヘッドフォンで聞いている場合、ヘッドフォン・ケーブルと電源ケーブルが接近しすぎないように離して設置する。	

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源を一度切り、数十秒経過してから、再び電源を入れることで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お求めの専門店または弊社サービス・センターにご相談ください。

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービスセンターまたはお求めの専門店までご連絡ください。状況に応じた出張修理または持ち込み修理をさせていただきます。なお、遠隔地の場合は修理品のご送付をお願いすることもあります。ご容赦ください。

ラックスマン製品の保証期間は購入日より起算して2年間です。この期間中に発生した自然故障は一切弊社の責任において無料修理させていただきます。保証登録書は、本機のパッキングケース内に入っていますので、お買い上げの販売店で、販売年月日、店名の記入捺印を受けた上、弊社に送付してください。折り返し、保証書を弊社よりお送りいたします。保証期間内の修理お申しつけの節は必ず弊社発行の保証書を添えてください。保証期間外、保証書がない場合の修理については実費でお引き受けします。

修理のご依頼、お問い合わせにつきましては、別紙のサービス情報をご覧ください。

MEMO

